

平成28年 3月市議会 須賀るみ子の一般質問

1 ゴミ減量対策

須賀 2013年度大分県内ゴミ排出の状況によると、中津市は前年比0・7%減一人当たり10608でリサイクル率も21・3%と上昇している5自治体の一つになっているが、2020年度には県は一人当たり9018、リサイクル率23・3%以上を方針としている。これまでも私はゴミの中でも重量で半分近い生ごみの資源化の方法をいろいろ提案してきた。市もピートモス配布や段ボールコンポストなどできることは積極的に取り組んで戴いたが、市のゴミ減量対策の取り組みの現状について。

生活環境部長 燃やすゴミの45%を占める生ごみ減量たい肥化を推進するために「屋外型コンポスト化容器」「電気式生ごみ処理機」の購入補助事業や「段ボールコンポスト資材のピートモス配布を3袋無料配布」している。生ごみ水切りダイエツトも推進してきた。今後も皆様の協力を求めている。参考。須賀 市産材を使った木箱「キエーロ」が全国的にも導入され

好評だが市も団地などに設置して普及する考えはないか。

生活環境部長 現在実証実験に取り組み始めているので、今後は四季を通じての効果を検証し、良い結果が得られれば補助制度も考えていきたい。

須賀 クリーンプラザ建替時期が平成33年から48年と国の財政事情で建設後当初計画より15年延長となった。焼却炉の機能維持方法、耐用年数、地元との合意は得ているのか。

生活環境部長 延命化の大規模改修のために計画の策定。基幹的設備改良事業によつてCO₂を今より3%以上削減。全連続運転。これに沿って改良するので今以上に機能はよくなり、整備後15年稼働できる。安全安定的運転をする。

須賀 八代市では焼却施設建て替えまでに、焼却炉の機能が低下し燃えのこしが大量に出て民間業者に一億円かけて処分した。その為に市民に「ごみ非常事態宣言」を出し、生ごみの削減を呼び掛けている。参考に。

●要望 新しい施設の検討については直ぐとりかかって頂くよう

に。直前で価格等でコンサル任せで済めることのないように。市民にとっては最重要施設の一つの自覚を持って担当課はとりくまれるように。

●地元への配慮については要望を十分きき、この施設を長期受け入れ頂くことを強く要望しておく。

2 南部童心児童館運営と今後の建て替え方針について

西日本で初めての児童図書館であり、中津で初めての児童館その理念と伝統を引き継ぎ、児童館のモデルとなつて頂きたいので質問する。

須賀 昨年の10月から市直営となったが、放課後児童クラブの利用人数は41人から現在36人、指導員も1名辞めたが減少理由は何か。人件費は公益財団法人の2倍強だが。

福祉部長 家族や本人の都合によるもの。須賀 児童館というのは0歳から18歳までの子供が安心して過ごせる福祉施設。子供にとつての大切な居場所。健康、交流、情操育成の場。子供や保護者との意見交換会はいつもつか。福祉部長 3月28日に説明し意見交換会を開く。

須賀 施設への要望①愛情といろんな子ども達への対応力あ

る人。障害をもつた児童には専門の知識の人が必要と思うが、まずは子ども好きの支援員配置が必要では。②子どもにはいろんな体験が必要。自然遊び体験の場。木、草花、土を。③キッチン。食育にもなるしこども食堂ができればさらに良い。④2階は広い屋内運動場に。

3 中心市街地商店街の活性化方針

私は昭和30年中津で初めてのアーケード街中津銀座が新博多町に出来た時以来、町内の栄枯盛衰を小さな店の一角から定点観測してきた。商店街の大きな転機は2度あった。一番大きかったのは市役所が現在の図書館の場所から現在地に移転したこと、もうひとつは寿屋を始めとした大型店の相次ぐ出店。夜市や春の市など懐かしい賑わいがあったのは商店街だけの時代。大型店も大型店同士の競争の中、国のまちづくり三法などでますます郊外へと大型店の立地が広がり、完全に中心が無くなりつつあるのが現状。中心市街地活性化計画を平成11年に中津市も策定し実行したが、ハード面の整備は進んだがソフト面の活性化は進んでいないのが現状。中心エリアを広げ過ぎたことも一因ではと思う。湯布院でも日田で

も中心の賑やかな所は限定されている。成功しているところは集中させている。中津も昔から商店街だった場所にこそ集中すべき。駅を降りて日ノ出町商店街、新博多町商店街、魚の辻通つて京町、中津城というのが中津歩きの基本コースでこれは変わっていないのでは。当初予算でがんばる商店街事業が予算化されていた。あとはその活用だと思い質問する。

須賀 商店街エリアの長所と短所、空き店対策に東京事務所の活用は。外国人夫妻が日本茶のカフェを昨年から開店したり、クラシックバレエのスタジオと新居が新博多町にできたりと、文化的個性的な方々が、普通なら誘致してもよいぐらいの方が進出するのは大変な町の強みで、可能性がまだまだあると私は感じているが市の考えは。空き店対策としては旧下毛の特産品や中津の旬の店や地元高校生や短大生の若者のチャレンジショップ。また東京事務所で中津出店有名店の誘致など個性ある店を誘致しては。企業誘致条例でこれまでの工場だけでなくIT関係や業種の広がりもあるので期待する。日南市では96名社員のIT会社を空き店に誘致してた。

2ページ下段に続きます

中津市議会議員、無所属市民派 すが るみ子 No.63 2016

女性の声、生活者の声を議会へ

発行 市民派市議・須賀るみ子 中津市新博多町(フェアトレード大地内)



● 電話.FAX.e-mailで皆さまの声を寄せ下さい ●
TEL & FAX 0979-22-0963
e-mail:sugarumi@daichi-sugarumi.com

ブログ&Facebook 更新中

ブログ <http://ameblo.jp/sugarumi/>
Facebook 『rumiko.suga』で検索!
ホームページ <http://www.daichi-sugarumi.com>

奥塚新市長編成予算416億円可決

(前年比0・8%減)



中津市議会 基本条例制定

市長選後議員を変えたのは市民の声

(前年比0・8%減)

3月1日市報で公表された大型事業の見直し再検討の市長の基本的な考え方は、「合併特例債は合併後の建設事業費が平成27年度末280億5千万円近い借入額となっている。平成26年と平成32年と比較すると7億円の特例債の減額差となること予想される。そこで建設にどれだけかかり、維持費用にどれだけかかるか検討中。①新歴史民俗資料館 市の財政課題と維持負担を考え、利用方法を再度検討中。歴史博物館として学習施設、市民参加、大学や県立博

物館との連携、観光連携を考えると平成30年に合わせて検討。②長者屋敷官衙遺跡のガイダンス施設を再検討。遺跡事業の必要なものはない。③永添運動公園施設利用者の健康増進と用地購入2億円、経済効果、市民の健康増進。④山国社会福祉施設利用者の見込み。いずれの公共施設も将来半分になる補助などから財政状況を考え、市民が参加でき、活用できる施設に」ということが市長の市報に掲載した趣旨であることが説明された。

昨年末の12月議会から全議員が質問するようになった。これはとても良い事である。議員を変えたのは何か。それは旧下毛のケーブルテレビによる議会中継の放映。テレビのスイッチをいれると身近な議員が出てくる。以前は特定の議員しか出てなかったもので、市民から「でちゃんあ、なしか」の声。「年に一回は質問せん」と言つた議員も反響の大きさに「こら毎回でらな」となったように、その波及効果が全議員を動かしたようだ。結局動かしたのは、市民。

先日大分市の集会で白杵市の議員達と会つたがまだ議会よりも発行されてないし、市民は全く関心がないので質問者も5人ぐらいだと。

国会でもたるみきつた国会議員の態度、無知な言論が問題になっているが、これもマスコミで報道されなければ国民は国会議員が何をしているかも知らず、怒る事もなく、ただ無関心になって行くだけ。安倍首相が当初無視していた東京の待機児童問題も、保育園に落ちた主婦のブログの反響に急ぎよ首相の答弁が変わつた。高石総務相の「電波停止」放送規制発言など恐るべきことが日本で始まっている。もつと声をあげ発信しよう。

新年度予算議会だが、1月に大寒波で水道管破裂問題の質問が多かった。これまであまり質問がなかった市民病院が増築費用を計上したので私も議案質疑した。病床数250床は変わらないが、4人部屋に感染症の患者は入れられない、また女性3人の部屋に男性一人は入れない等の事態もあり、許可されている病床数の稼働率を現在の95%から100%稼働にするための増築と保育所の建替え新設費用との答弁。なんといつても24万医療圏の拠点病院。地域医療支援病院。本来ならもつと病床数は多くて当然。

平成28年度(2016年) 主な事業

1 安心づくり
豊寿園建設事業(9億8422万円)
認定こども園(めぐみ幼稚園)整備事業 (1億5827万円) など25事業

2 元気づくり
牡蠣養殖事業 (1080万円)
メーブル耶馬サイクリングロード整備事業 (151万円)
中津耶馬溪観光協会補助事業 (1億246万円)

3 未来づくり
和田コミュニティ建設事業
宮永角木線街路事業 (1億9087万円)
クルーズ船歓迎費 (313万円) など14事業

4 連携と結集
大学相互協力事業 (60万円) など2事業



写真で伝える るみ子の活動

2016年
1月～3月



サロン南部



第4回朝吹英二翁顕彰会式典



大分大学での講義



金谷鶴亀サロン



新生市民クラブ会派視察（日南市）



3.11いのちの輪 脱原発集会（大分駅前店場）



JA なかつ道の駅集出荷車出発式

第29回 みんなで遊ぼう会



県立安心院高校にて授業



4 ページ下段からの続き

観光商業部長 日ノ出町、新博多町は市の中心部にあり、駅へのアクセスも良い事、買い物、交流の場としても重要であり、商品売買の場を超えた社会的文化的にも地域の雰囲気醸成する空間である。空き店対策は商店街の最大課題の一つ。地元商店街自らが行う地域活性化の取り組みに對しては協議検討する。

須賀 未来会議の役割と今後の方針は。

観光商業部長 「がんばる商店街支援事業補助金」は未来会議からの提案を含めたイベント等を行う場合には対象となる。未来会議にはがんばる商店街事業の目的以上の取り組みを期待する。

4 青パト、防犯パトについて

この質問については通告した会議場では時間不足で出来なかつたので、課長より答弁書を議会後にいただいたので報告する。当初予算でこの事業は見直し、安心パトロール車となつた。

須賀 これまでの費用対効果、検証、見直しの内容。

生活環境課長 平成15年から青色防犯パトロール車を導入し防犯パトロールを実施してき

た。効果は平成16年の刑法犯認知件数が中津市で1581件だった

が、昨年は507件に減つた。もちろん警察や自主防犯活動による防犯意識の高揚もある。検証結果は当初の意義は安心感の醸成と言う目的は達成された。市民ニーズは巡回中心のパトロールだけでは満足しない、今の日中職員中心の体制ではニーズに応えにくい。見直しの結果、体制の変更。これまで本庁3台、支所4台計7台だが今後は4台となる。台数は減つたが質の向上のためにパトロール員は経験豊富な指導員などを予定。担当業務の拡大。不法投棄等の環境監視、高齢者宅への防犯指導、犬猫の死骸処理、土砂条例の調査等。

障がいのある人もない人も心豊かに暮らせる大分県条例が制定

歩みの会主催で徳田弁護士を講師に公開講座が宇佐で開催されました。「この条例の意義は障がいのある人の生の声が条例になつたのは全国初。画期的条例になっている。ただ県条例はおおまかな条例なので、今後は大分県内全ての自治体で市条例を作れるように。条例は議員が作るのではなく、まず『条例を作る会』を発足し、障がい者の生の声を聞きとってつくるべき」と話されました。

百円玉市民塾

みんなで作ろう「中津市まちづくり条例」



昨年8月からの主題で塾を再開し、3月まで8回いろんな方々と学習して素案もできつつあります。講師は田淵英久さんで退職までは福岡県で小学校の教師をしていま

した。学生時代の専攻は政治学で市民自治に著名な松下圭一先生に学んだそうです。ご本人も地域の自治委員をしながら行政にも初めて関わり、もっと多くの市民が、自分のまちの政治に関心をもって「自分のまちは自分で変えられる」そんな条例ができればと模索が始まりました。参加者の中には近隣の自治体職員の方もいます。

「まちづくり条例の夢」

田淵 英久

私は15年ほど前に、百円玉市民塾で「地方分権と市民自治」と題してお話をすることがあります。今回は、「中津市まちづくり条例」を市民塾参加者の皆さんと作成することができました。つまり、15年前の「私の夢の続き」が実現できたわけです。その意味で、百円玉市民塾主催者の須賀



賀るみ子さんには、心から感謝しています。

市民自治は可能か？と問われれば、今現在では、NOと答えるしかありません。しかし、「中津市まちづくり条例」をもとにして、自分たちの地域中津市は、市民の市民による市民のための市政、つまり、市長・議員・行政職員が一体となつて市政運営を行うと決意できれば、市民自治も射程距離に入ってくるでしょう。

国政も揺らぎ国策も失敗続きの今、中津という地域から「まちづくり」の成功例を発信できれば、それも夢の続きの実現です。

本条例の前文

私たちのまち中津市は、先哲を輩出し歴史の香りがする自然に恵まれた豊かな地である。私たち中津市民は、この向学の気風や歴史

遺産、美しい自然環境を子々孫々につなぐことができるように努力し「住むことが誇りに思えるまち」を目標にしたい。

まちづくりの水準は主権者の中津市民一人ひとり、市民に選ばれた市長および議員、行政機構の職員それぞれの知恵を反映した結果である。私たちは、このまちづくりの水準を高めるために、中津市が保有した情報を市民、市長、議員、行政機構職員と共有し、市民参加による市政運営を基本にまちづくりを担う多様な主体と連携して、個性豊かな中津市の実現をめざしたい。

私たちは、中津市民一人ひとりの負託によつて中津市が成立していることを自覚し、市政の基本的原則、制度、運用の指針、市民と市の役割を定める中津市の最高規範として、ここに「中津市まちづくり条例」を制定する。

須賀るみ子の活動報告(★は議員活動)

1月

- 1 (金) 初詣
- 2 (土) OPAM美術館
- 9 (土) 第110回百円玉市民塾
- 10 (日) 二日会総会新年会
- 12 (火) 南部小読み聞かせ
- 14 (木) ★全員協議会
豪雨災害後の山国川流域ダム等視察
- 16 (土) ★福岡市庁舎前広場で津物産展応援
- 19 (火) 南部小建て替え延期説明会
中津歴史と文化を考える会（稲田副市長）
- 22 (金) 金谷鶴亀サロン
- 23 (土) 県政市政報告会（南部）
- 24 (日) 祝米寿藤間重志朗初春舞踏会（大雪）
- 26 (火) サロン南部
- 27 (水) 鶴居小校長訪問
- 28 (木) ★日南市商店街視察
- 29 (金) ★木城町視察
- 30 (土) 中津ガイドボランティアで参加
福澤記念館企画展「福澤諭吉と大隈重信」
- 31 (日) 新春琴開き

2月

- 2 (火) ★前橋市議道の駅視察歓迎挨拶
- 3 (水) 二日会
- 4 (木) J A 新年会
- 6 (土) 第111回百円玉市民塾
- 8 (日) 金谷鶴亀サロン
- 10 (水) ★県建設協会中津支部と建設農林水産委員会との意見交換会
- 12 (金) 会派会合、北部体操教室
- 14 (日) 田中雅子さんのネパール報告会
- 15 (月) ★全員協議会
- 16 (火) 歴史と文化を考える会
県政市政対策会議
- 17 (水) ★一般質問通告
- 19 (金) ★議運
- 20 (土) 田中長光個展
- 22 (月) ★一般質問打ち合わせ
- 23 (火) サロン南部、商店街未来会議
- 24 (水) ★全員協議会
- 25 (木) 中津耶馬溪ガイド連絡協議会設立総会
- 27 (土) ひな祭り諸町カフェ、崇禅寺法要
- 29 (月) 中津ガイドボランティアの会研修会

3月

- 1 (火) 南部小読み聞かせ
- 2 (水) ★議案質疑（須賀）
- 3 (木) ★議案質疑
- 4 (金) 城北中卒業式
- 5 (土) 第112回百円玉市民塾
- 7 (月) ★常任委員会（建設農林）
- 8 (火) 常任委員会（文教）傍聴
- 11 (金) ★委員長報告、採決
- 12 (土) 第4回朝吹英二翁顕彰会式典
- 13 (日) 3.11大分いのちの輪脱原発集会
- 15 (火) ★一般質問（須賀）
- 16 (水) ★一般質問
- 17 (木) ★一般質問
- 18 (金) 県立安心院高校にて授業
- 21 (月) 金谷鶴亀サロン
- 22 (火) サロン南部
- 23 (水) 市民病院で検査
- 24 (木) ★自由討議
- 25 (金) ★意見書採択等議会最終日
- 26 (土) J A なかつ道の駅集出荷車出発式
- 27 (日) みんなで遊ぼう会（中津プレーパーク）
障がいのある人もない人も心豊かに暮らせる大分県条例（歩みの会公開講座）
八面山スケッチ大会準備会議
- 29 (火) 中津観光ボランティアガイド実施研修
- 30 (水)

お知らせ

百円玉市民塾

みんなで考えよう「アベノミクス」

期 日 5月7日（土）

場 所 南部公民館

連絡先 須賀（22-0963）

アースデイ中津2016

期 日 5月15日（日）

場 所 大貞公園総合運動公園
連絡先 大地（22-0963）

「ザ・トゥルー・「スト」上映会

安さの代価を払ってるのは誰？

期 日 6月11日（土）、12日（日）

場 所 中津市教育福祉センター
連絡先 大地（22-0963）